T-0102110

# 組立・施工・取扱説明書

お客様保管用

# 数寄屋門7型

このたびは、当社商品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。この商品を安全に正しく施工していただくため、この「組立・施工・取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。

## 安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は安全に関する最も重要な内容です。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解して本文をお読みください。また、本説明書および当社カタログに記載されている内容に反する施工やご使用をされた場合、保証対象外となります。

| 安全記号 | |
|---|---|
| ⚠ 警 告 | ●取り扱いを誤った場合、使用者が死亡もしくは重傷を負う可能性がある危険度が「高い」内容を示しています。 |
| ⚠ 注 意 | ●取り扱いを誤った場合、使用者が中、軽傷を負う可能性がある内容、または物的損害の可能性があり危険度が「中、軽い」内容を示しています。 |
| **一般記号** | |
| ポイント | ●組み立て、施工手順で、特に注意して作業を進める必要がある内容を示しています。<br>●注意して守っていただかないと、組み立て、施工が困難、あるいは強度不足のため、施工後不具合が発生する可能性がある内容を示しています。 |

## 組立・施工上のご注意

### ⚠ 警告

●屋上やがけの上など、商品が落下した場合にケガをする可能性のある高所には設置しないでください。
●お子様が踏み台として使用し、転落事故につながる場所への設置は絶対にしないでください。
●本説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(体積)にて施工し、安全を確保してください。
●施工時、コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)や、コンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)で塩素系や強アルカリ系のものは、絶対使用しないでください。使用すると、金属部分が腐食し、破損、倒壊の可能性があり危険です。

### ⚠ 注意

●組み立て、施工場所の整理整頓、適切な安全確保を行ってください。高所作業での転落、工具、部品の落下や倒壊の防止、暗所作業時の照度の確保などを必ず行ってください。
●工具、器具、保護具(作業服、保護帽、安全靴、安全帯、その他作業者身体の保護具)などは、安全機能を十分に確認し、正しく使用してください。また不具合のあるものは使用しないでください。
●組み立て、施工は正しく行わないと危険です。組み立て、施工前に必ず本説明書をお読みください。
●必ず本説明書に従って正しく施工してください。正しい順序で施工されなかった場合には、商品の強度など性能が低下するほか、倒壊につながる場合があります。
●梱包明細表で必要な部材、部品がすべて揃っているか確かめてから、組み立ててください。
●設置場所に正しく施工でき、不具合なく使用することができることを確認してください。
●給湯、暖房機などの熱排気が商品で妨げられ建物内部にこもったり、適切な換気ができなくなるような場所には設置しないでください。
●給湯、暖房機などの排気熱が直接商品に当たると被膜の劣化、はく離につながります。熱の影響のない場所に設置してください。
●通路など、通行の妨げになる場所には設置しないでください。
●給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか位置を確認してから施工してください。
●防犯上、不審者が踏み台として使用し、侵入が容易になるような場所には設置しないでください。
●高台、強風地域、特にがけの上、屋上、風の通り道などへの設置は避けてください。
●水はけの悪いと思われる場所には設置しないでください。
●振動、衝撃のある場所には設置しないでください。商品の破損、倒壊につながります。
●屋根に積もった雪を、地面に落とせる空間が確保できる場所に設置してください。
●本説明書に表示している基礎部の埋め込み深さは一般的な場合です。現場の地盤状態に合った基礎部の寸法(基礎体積)にて施工し、安全を確保してください。
●基礎は安全のため必要な強度を十分確保してください。
●傾斜地に設置する場合の基礎は、低い側の埋め込み深さを基準としてください。埋め込みが浅いと転倒する危険性があります。

# 組立・施工上のご注意

## ⚠ 注意

●商品を据え付けする約7日前までには、コンクリート基礎施工を完了させてください。
●据え付け当日に、モルタルでしっかりと正式固定してください。
●組み立て、施工時は、商品にキズがつかないように十分注意してください。
●組み立て、施工用のボルト、ビスは規定本数(当社指定純正品)を確実に締め付け、固定してください。
●商品のささくれを見つけた場合は取り除いてください。特に切り詰めなど現場加工の場合は必ず行ってください。
●コンクリート、モルタルに木材が直接触れると変色する可能性があります。すき間をあける等の対策をしてください。
●組み立て、施工終了後は、必ず商品が正しく組み立てられているか確認してください。特にボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。
●組み立て、施工終了後は、施工時の汚れをきれいに取り除いてください。
●構造物、建築物の屋根などからの雪の落下を受けない位置に設置してください。
●凍上する可能性のある寒冷地に設置する場合は、必ず凍上線の下まで基礎部を確保するように施工してください。
●安全を確保するため、組み立て、施工は必ず専門の業者が行ってください。
●商品の改造は絶対にしないでください。商品の性能が落ち、強度不足による破損、倒壊の可能性があり危険です。
●誤った使用を避けるため、組み立て、施工終了後、必ず取扱説明書はお施主様にお渡しして、取り扱いの注意、メンテナンスについて説明してください。

# 使用上のご注意

## ⚠ 警告

●商品の近くで火気を使用しないでください。熱の影響により、商品の変形や火災の原因になります。
●運動具やお子様の遊具、踏み台、ふとんや洗濯物を干す等、目的以外の使用は絶対にしないでください。

## ⚠ 注意

●商品の一点をハンマーで叩いたり、ハシゴをかけるなどして強い衝撃、荷重を与えると破損、倒壊事故の原因になります。絶対にしないでください。
●無理な荷重をかけないでください。商品の上で飛んだり、跳ねたりしないでください。ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。
●局部的に重い物をのせたり、立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。ボールなど投げつけたりしないでください。
●安全性の高い材料を使用しておりますが健康を害する恐れがありますので、小さなお子様やペットがなめたり、かじったりしないように注意してください。
●商品の切り口に切断時のささくれが残っている場合や、現場加工にともないささくれが発生する場合があります。手などにケガをしないように、取り扱いには十分注意してください。発見した場合は放置せず、施工店様に連絡してください。
●商品を改造したり、穴をあけたり、当社オプション品、付属品以外の取り付けは避けてください。商品の性能が低下する可能性があり危険です。
●積雪のある地域では、必要に応じて早期に除雪してください。
●長くお使いいただくためには定期的なメンテナンス(木材保護塗料の塗布など)をおすすめします。
●定期的に接合部のチェックを行い、ボルトや木ビス等のゆるみがあれば締め直しを行ってください。お施主様でできない場合は、施工店様に依頼し必ず直してください。
●商品が破損したり、グラつく場合は、すぐに施工店様に連絡してください。破損したままで使用していると事故の原因となり危険です。
●年数の経過により割れや腐食がひどくなった場合は、安全面を考えて使用を中止し、解体処分してください。
●まれに樹液が染み出すことがあります。衣服を汚さないためにも、見つけ次第すみやかに取り除いてください。
●紫外線や雨による色あせ、ヤセや割れといった経年変化が生じます。
●天然木製品は、経年変化、気象条件により、伸縮や膨張することがあります。
●経年変化により若干の反りや色変化がありますが、強度には影響ありません。

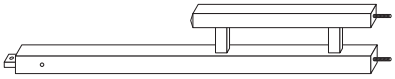
# お手入れ方法・塗装について

●いつまでもより美しくご使用いただくためにも、1年を目処に木材保護塗料の塗り替えをおすすめします。
●木材保護塗料を塗る場合は、施工店様にご相談いただくか、市販の木材保護塗料をご購入のうえ、ご自身で塗り替えてください。
●お施主様ご自身で塗り替えを行う場合には、各塗料に掲載されている注意事項を厳守してください。
●塗り替える前には商品を水洗いし、よく乾かしてから塗装してください。
●木の通気性を損なう種類のニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。木材内部の水分が発散されないため、内部で腐食する恐れがあります。

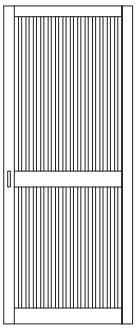
# 部品の確認

## ■数寄屋門7型 梱包明細

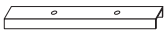
### ◆ 柱、鴨居、屋根

| 名　称 | 姿　図 | 数　量 |
|---|---|---|
| 柱ユニット |  | 2セット<br>（左右各1） |
| 鴨居 | | 1本 |
| 屋根ユニット | | 1セット |

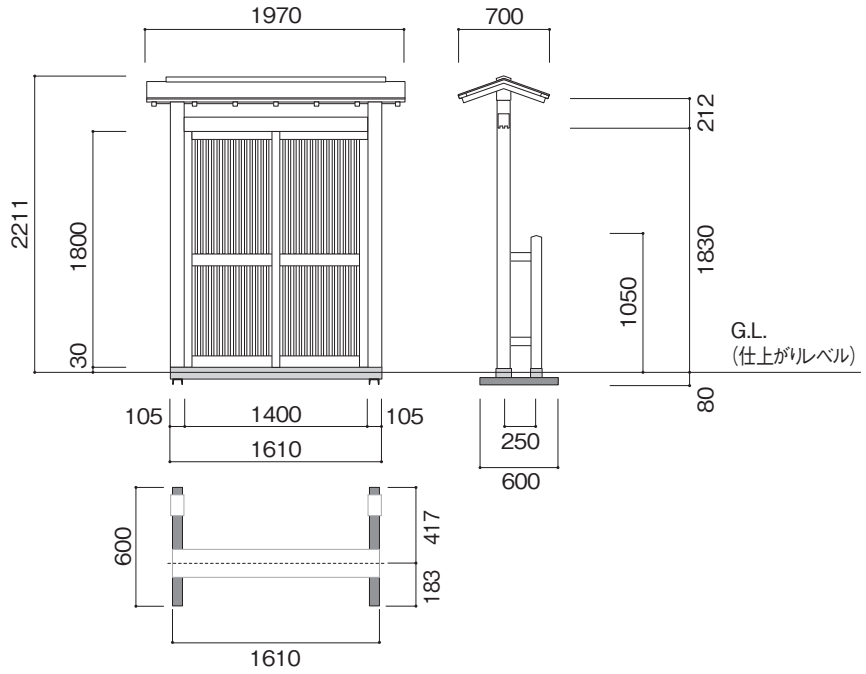
### ◆ 建具

| 名　称 | 姿　図 | 数　量 |
|---|---|---|
| 建具 |  | 2枚<br>（左右各1） |

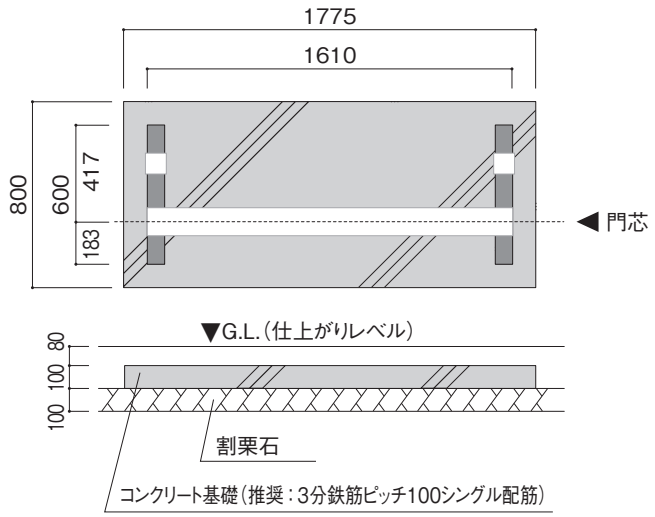
### ◆ 敷石、束石、金具等

| 名　称 | 姿　図 | 数　量 |
|---|---|---|
| 敷石 | | 1本 |
| 束石 | | 2個 |
| ベース |  | 2本 |
| ウィットネジ 呼径3/8<br>ワッシャー | | 2セット |
| ウィットネジ 呼径1/2<br>ワッシャー | | 4セット |
| 埋木 | | 2個 |
| クサビ | | 2個 |

# 寸法図




# 基礎図




# 廃棄について

ご不要になった商品、また現場で発生しました残材等につきましては、
各地域の条例等に従って正しく処分してください。

# 組立・施工

## ❶ 基礎の施工（別途現場手配）

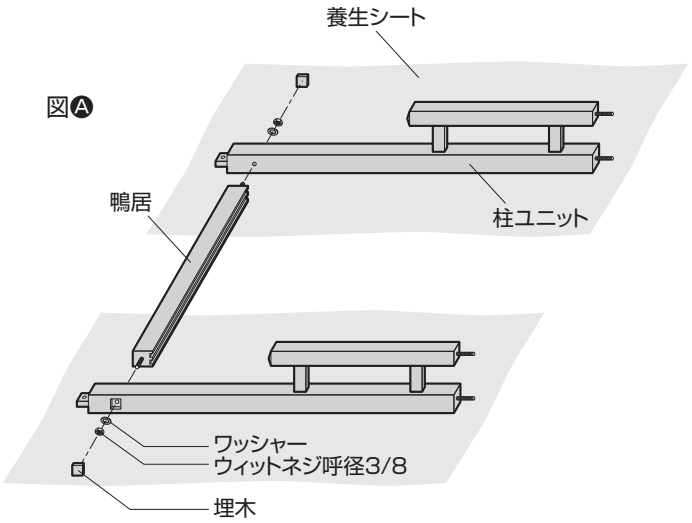
据え付けの約7日前までに、必ずコンクリート基礎の施工を完了させてください。（4ページの基礎図参照）

## ❷ 柱と鴨居の組み付け

**柱ユニット**と**鴨居**を組み付けて、**ウィットネジ呼径3/8**、**ワッシャー**で固定し、固定位置に**埋木**を埋め込みます。（図Ⓐ）

※作業する際には、材料にキズが付かないように、養生した上で作業してください。

図Ⓐ

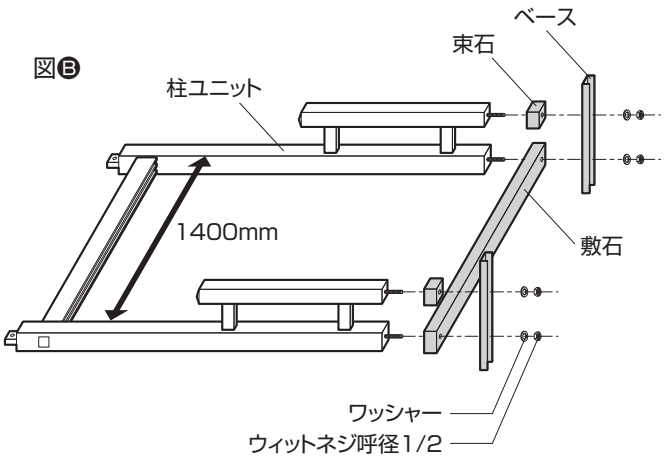



## ❸ 敷石、束石、ベースの取り付け

**敷石**、**束石**と**ベース**を**柱ユニット**のボルトに通し、**ウィットネジ呼径1/2**、**ワッシャー**で固定します。（図Ⓑ）

※間口寸法1400mmを確認してください。

図Ⓑ

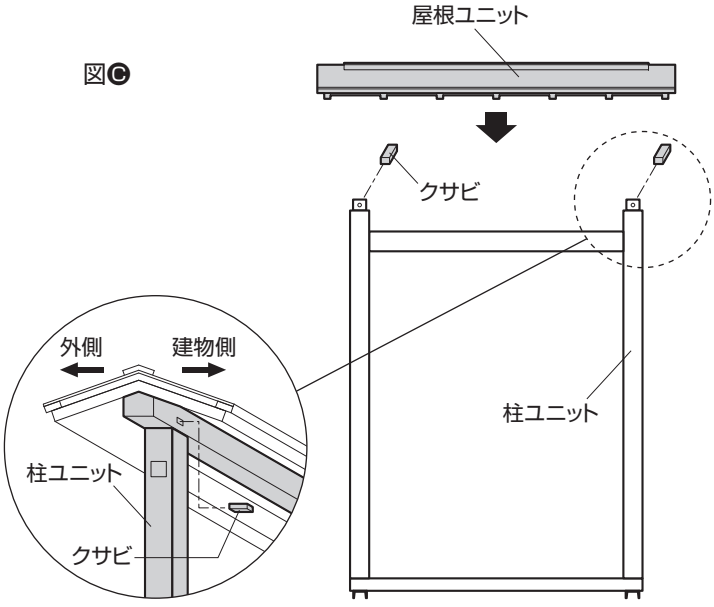



## ❹ 屋根の取り付け

**柱ユニット**部分に**屋根ユニット**をのせ、後ろ側から**クサビ**を打ち込んで固定します。（図Ⓒ）

※屋根ユニットはクサビ穴のある方が後ろ側（建物側）です。

図Ⓒ

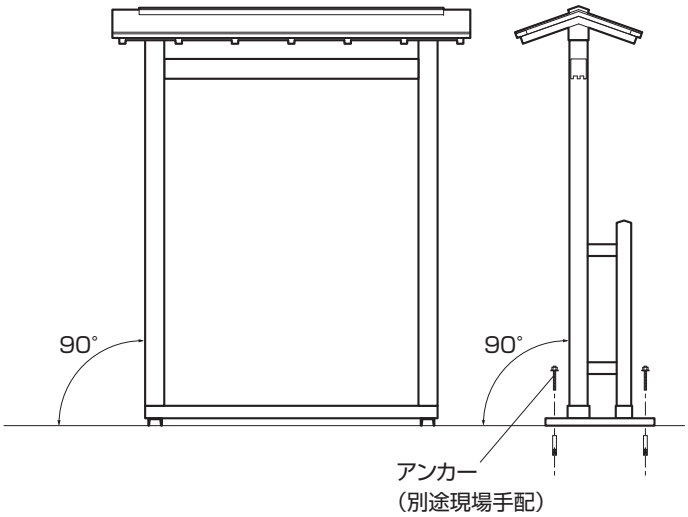


# 組立・施工

## ❺ 建て起こしの調整とアンカー固定

前後左右の建て起こしを調整し、**アンカー**固定します。(図Ⓓ)
※アンカー別途現場手配

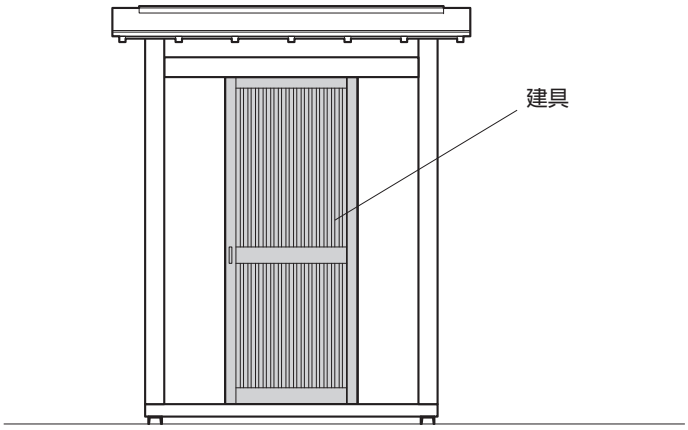
図Ⓓ




## ❻ 建具の取り付け

**建具**(引き戸)を間口の中心で差し込みます。(図Ⓔ)

図Ⓔ



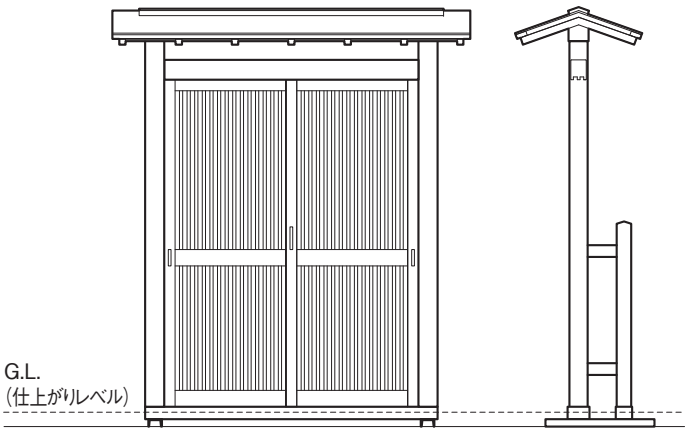

## ❼ 建具戸車の調整

建具下部の**戸車**を調整し、柱の建て起こしと合わせます。
その後、鍵の締り具合を確認してください。

## ❽ 据え付けの仕上げ (別途現場手配)

据え付けの仕上げは、仕上がりレベルに注意して(4ページの基礎図参照)、ベース、敷石、束石を、モルタルでしっかりと固定します。(図Ⓕ)
※固定は当日に行ってください。

図Ⓕ




お客様サービスセンター 通話料無料 0120-51-4128 受付時間/月～金 AM9:00～PM5:00(祝日は除く)
株式会社タカショー 本社／〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂20-1 TEL. 073-482-4128(代) FAX. 073-486-2560(代)